



せいか

農業委員会だより 57号

2023年 3月 発行

編集発行／精華町農業委員会

〒619-0285

京都府相楽郡精華町南稲八妻北尻70

TEL.0774-95-1903



も

く

じ

- ▼学校農業体験（稲刈り）…………… P2
- ▼せいか祭り2022…………… P2
- ▼地区連絡会議（柘榴）を開催…………… P2
- ▼管外研修報告…………… P3
- ▼全国農業新聞の案内…………… P3
- ▼農業者年金の案内…………… P3
- ▼田園風景…………… P4
- ▼食卓に一品 春菊のナムル…………… P4

クセになる味、春菊

春菊という名前は春に花を咲かせること由来します。若い葉と茎がまだやわらかい11月頃から2月頃に旬を向かえ、お鍋やおひたしなどで親しまれます。森島隆詞さんのハウスでは、旬のこの時期は出荷作業に追われるそうです。



町内小・中学校・支援学校

学校農業体験



「せいか祭り」 でPR活動



令和4年11月20日(日)、けいはんな記念公園及びけいはんなプラザ周辺で、せいか祭り2022が開催されました。

3年ぶりに通常開催となり、農業委員会もけいはんな記念公園の芝生広場でブースを出展。

日々の農業委員会活動のパネル展示や、精華町特産品の落いもや農業者年金、全国農業新聞のPRを兼ねたクイズとアンケート、特別栽培米「やましろの恵み」(JA京都やましろ精華町支店提供)などが当たる抽選会を開催し、多くの方にご参加いただきました。

(新司委員)

柘榴地区 連絡会議

令和5年1月17日(火)、役場会議室で第2回柘榴地区連絡会議として、地域農業を取り巻く地域の現状を地図に落とし「見える化」作業を行いました。

地域の自治会、農家代表、実行組合長、中山間や多面的組合関係者など5名の方と町農政担当、農業委員会事務局、京都府農業会議現地推進役と一緒に、皆さんで情報を出し合いながら、現在の農地の耕作状況の後継者の状況等から4つに分けて色塗りを行うことで、地域の農業課題を「見える化」しようというものです。

今後、この地図を元に地域の課題を話し合いながら、最終的には「地域計画」を策定して行きます。



(中村委員)

管外研修 報告



京丹波町



コロナ禍で、久しく視察研修や意見交流を行う機会が失われていましたが、令和4年10月26日(水)に、京丹波町役場で同町農業委員会との意見交換を行う機会を得、農地法関連審査はもとより、新たに取組んで行かなければならぬ

い農地利用の最適化推進や広報活動について、意見交換を行いました。

京丹波町は京都の中央部に位置し、三町合併を機に基幹産業の農業行政の見直しの中で、各地域懇談会や更に細分化した部会で得た意見を集約し、今後守るべき農地と耕作できない農地を分け、山間部を中心とした耕作不能と判断した農地を農地台帳から除外するといった思い切った決断をされました。

また、そのことを広く住民に広報するための活動も積極的に取り組まれていました。

地域の実情は異なりますが、本町でも3地区から進めている地区連絡会議で、話し合いや地図による農地の実情の見える化を進める際の先進事例として役立てています。

このような取り組みが、今後町内の優良農地をどのよう

に守って行くかの足がかりとなります。
今後町内外研修や町との意見交換を進め、本町農業委員会として更なる事業推進のために、地域農業を守る活動を進めていきたいと思えます。

(右井委員)

【学校給食納入者募集！】

子どもたちに真心を込めて作った精華町産の野菜を納入していただける農業者を募集しています。興味のある方は次のところまでご相談ください。



- 対象 年間を通じて、野菜を安定的に供給できる農業者の方
- 納入野菜 季節に応じた野菜（たまねぎ、にんじん、ジャガイモ、大根、白菜など）
- 納入回数 月2〜4回程度（野菜の種類等により異なります）
- 納入時間 指定日の午前8時〜午前8時30分に納入
- 納入価格 納品翌日の日本農業新聞市況価格（平均値）

【イノシシに注意を！】

精華町は緑豊かな里山環境が残っており、里山の近くではイノシシなどの野生動物を見かけることがあります。

現在のところ、人に危害を与えた情報はありませんので、過剰に恐れる必要はありませんが、十分に注意してください。農地が荒らされたなど、被害がありましたら次のところまでご連絡ください。

- 畑に野菜くずなどを放置するとエサ場になってしまい、イノシシが寄ってくる原因となります。また、米ヌカは好物なので散布は要注意です。
- 電気柵は、設置したら、基本通電（タイマー管理）させるようにしていただき、金網柵と同じく、日常管理と点検を行ってください。



【問い合わせ先】 農政課 (TEL 95-11903)

農業経営とくらしに役立つ

全国農業新聞

地方版には身近な情報が満載。

- 毎週金曜日発行
- 購読料 1カ月：700円

● 申込みは
農業委員会事務局

TEL:95-1903

農業者年金に加入しよう!!

加入要件

- ① 国民年金の第1号被保険者
- ② 年間60日以上農業に従事
- ③ 20歳以上65歳未満
- ④ 農地を持っていない農業者や、配偶者や後継者など家族農業従事者の方も加入できます

さらに便利になります!!



農業者年金CM (税制メリット)

CMをご覧になりたい方は
こちらから

<https://youtu.be/VlaVEE1mYGQ>



詳細・お申込み先は農業委員会事務局へ

田園風景

薄っすらと雪が積もり、隙間から見える茶色と白銀の絶妙なコントラストの風景に…感動!!

(前 松尾広報委員)



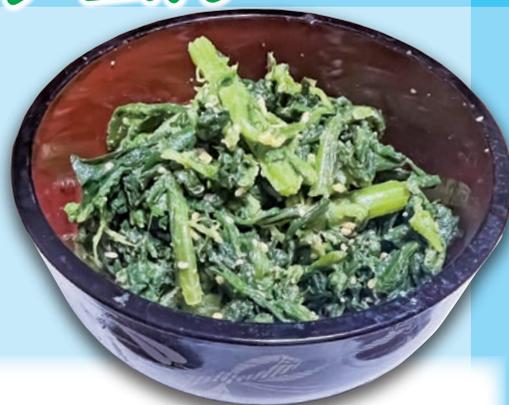
(里地域)

食卓に一品

春菊のナムル

【材 料】

・春菊	200g
・ゴマ油	小さじ1
・すりゴマ	小さじ2
・鶏ガラスープの素	小さじ1



【作り方】

- ① 春菊は洗って食べやすい長さに切り、熱湯でサッとゆでる。
 - ② 冷水に取り、水気をよくしぼる。
 - ③ ボウルに②を入れ、ゴマ油、すりゴマ、鶏ガラスープの素を入れてよく和えたら出来上がり。
- ◎簡単で、おいしいのでぜひ試してみてください。お好みでしょう油を入れてもおいしいです。
(草嶋委員)

下限面積が なくなります

令和5年4月から、農地の取得など権利移動にかかる下限面積(3000㎡)要件がなくなります。

ただし、農地の権利取得に必要なそのほかの要件は、これまでどおりです。

詳しくは、農業委員会事務局までお問い合わせください。

委員の つぶやき

今年は、コロナによる行動制限もなくなりましたが、農業分野においてはロシアのウクライナ侵攻の影響などから、農業資材や肥料が高騰し、特に小規模の農業者(家)にとっても大きな負荷となっています。

早く情勢が好転し、これからも楽しく、豊かに農業ができますことを願っています。
(藤村委員)

農業委員会だよりは、精華町役場農業委員会窓口にあります。また、精華町のホームページでも公開しています。
この印刷物は、不要になれば、「その他リサイクルできる紙」として古紙回収に出してください。